

いろいろ通信

創刊号（2016年9月25日）

発行：特定非営利活動法人いろいろ

編集責任：浦野・近藤

ご挨拶

日増しに秋の気配を感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

このたび私どもは、日本の農山漁村や民家の保全・再生を目的とする特定非営利活動（以下NPO）法人いろいろを設立いたしました。

当法人の設立には、2008年に藤木良明氏が設立されたNPO法人山村集落再生塾が直接的にかかわっています。山村集落再生塾では長らく、福島県南会津町にある茅葺き集落の水引にて、古民家や集落景観の保全活動を行われてきました。しかし2015年度をもって活動を一区切りとされたため、これを継承すると同時に、将来的な活動拡大を視野に新法人を設立した次第です。

法人名は、古民家の象徴的な空間である「いろいろ」から採りました。いろいろのある古民家や里山、集落景観を未来へ伝えるとともに、これらを核として“いろいろ端会議”のように人と人を結び、ひいては地方と都市の交流をお手伝いしたいという思いを込めたものです。

まだまだ不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

今年も開催、茅刈りツアー

山村集落再生塾が毎年開催してきた水引集落の「茅刈りツアー」を今年も開催します。開催日は11月5日(土)、6日(日)です。

ツアーの詳細、お申し込み方法などは別紙のご案内状をご覧ください。皆さまのご参加、心よりお待ちしております。



茅葺き屋根の材料になる「茅」を一緒に刈りましょう！

ホームページを開設します

現在、NPO法人いろいろの活動内容を紹介するホームページの開設準備を進めています。

アドレスは<http://www.npo-irori.org/>です。

当法人は運営費の関係で、当面のあいだご案内はフェイスブックやホームページにて発信させていただきます。ご覧になれない方には別途ご案内させていただきますので、上記ご連絡先までお気軽にお問い合わせください。



NPO 法人いろいろホームページのトップ画面

寄稿 NPO法人いろいろと「水引茅屋根結いの会」へのご支援を

藤 木 良 明

私が初めて水引に入ったのは 10 年前の 5 月でした。以前に湯ノ花まで行ったことがありますが、その奥に茅屋根が静かに佇んでいるのを知りませんでした。水引は訪れる人も少なく、かつての懐かしい農村風景を手付かずのまま残していたのです。しかしながら私が訪れた時に一軒の屋根が崩落し、二軒は破れたビニールシートで覆われていました。

全国各地の民家を見てきた私にとって手付かずの水引は何処よりも優しい風景でしたが、そこに都市と地方の断層を見たというのが正直な気持ちでした。こんな思いがけないことから水引通いが始まり、皆さんと出会い、そしてご協力を得て今日に至りました。振り返りますと良くここまで来られたと思いますが、昨年、南会津町が茅屋根補修に対して三分の二の助成をすることになったことで一つの区切りが付いたと考えました。

そんな折、浦野さん、近藤さんから水引への支援に協力したいとお話があり、それなら「山村集落再生塾」を引き継ぐよりも、新しいNPO法人を設立して若いパワーで第二ステージとも言うべき支援の方向を模索した方が良くだろうということになりました。

町から三分の二の助成が決まったとはいえ、茅屋根にお住まいの方々の高齢化が進み、清美さんご夫妻があいつで亡くなられて空き家が三軒にな

り、その他にもいろいろ課題があります。しかしながら無理のないところでNPO法人「いろいろ」の運営を皆さんで支えていただきたいと思います。そして、全国で最後とも言える優しい佇まいをもった水引に出会えたことを喜びにさせていただきたいと願います。

ひとつお知らせがあります。「水引茅屋根結いの会」が誕生しました。「結いの会」の結成により、今後は茅屋根にお住まいの方々が一定の金額を毎年積み立てて、町の補助のもとに年に1～2棟の差し茅補修をご自分たちの主体でしていかれます。私も引き続き協力させていただきますが、皆さんも「結いの会」へのご支援をお願いします。NPO法人「いろいろ」が開催する“茅刈りツアー”で刈っていただいた茅が、毎年の差し茅の材料として提供されることも期待しています。皆さんのご支援によりこのシステムが定着すれば、水引はあの静かで優しい佇まいを維持していくことができます。これは全国的に見て他に例のないことでもあるのです。



平成 28 年度差し茅 離騒館・大助家・清美家の三軒を実施(写真は離騒館の東側)